情報科学史　　豊島雅和

授業概要

情報科学の歴史は、コンピュータの歴史とともに歩んでおり、70 年足らずです。この授業では、その短い歴史を踏まえて、情報科学の基本的考え方を、テキストを中心に学びます。既に、あるいは同時に学んでいると想定される「情報機器の操作」や「情報処理」の授業で学んだ実習的内容を補完する、『理論編』に相当する授業です。すなわち、コンピュータをブラックボックスとした操作に熟達することではなく、どのような動作原理にて動いているのか、そのしくみを体系的に理解することを短い歴史を通して学ぶことが目的です。その結果、コンピュータの限界や、将来もたらす可能性もわかるようになるはずです。理論の話なので、基本的には座学です。

第１回	導入
第２回	ハードウェア
第３回	基本ソフトウェア
第４回	アプリケーション
第５回	インターネット
第６回	IT の歴史
第７回	ICT に至る歴史
第８回	知の世界の再編成
第９回	ロングテール現象
第10回	総表現社会
第11回	オープンソース運動
第12回	ウェブ社会は世代変化によって
第13回	現代的トピックⅠ
第14回	現代的トピックⅡ
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

「情報科学」の基本的な考え方を理解し、他者に(重要な項目については)説明できるようになる。

履修上の注意

講義形式で進めます。ノートテイキングは着実にするようにしてください。

予習復習

予習復習を含めた細かな運用上のルールなどは開講時に指示します。

評価方法

期末試験にて評価します。

テキスト

後半はテキストを中心に授業を進めていきますので、事前に必ず購入しておいてください。授業計画での展開は、選定されたテキストにより、変わる可能性があります。
テキスト：　梅田望夫、「ウェブ進化論」、ちくま書房、760 円　(予定)